

N O R C ニ ュ ー ス

社団法人 日本外洋帆走協会

第 7 回 鳥羽 パール レース 入賞艇表彰式のお知らせ

外来艇ストンムフォーゲル号他初参加の艇もありまして華々しく開催されました上記レースの入賞艇表彰式を下記により開催いたします。

式后直に柳生氏 (NEPTUNE) のご提供による「ファストネットレース」及び小田達雄氏の「海外のヨット紹介」の映画を高覧に供します。

なお、当日は三木本真珠島横浜専務取締役他関係者の御来席を願っておりますから前夜祭に参加された方々は是非出席して下さい。

記

日 時 昭和 41.8.30 (火) 18:30
と ころ 日本船舶クラブ会議室
会 費 不 要

(付記) 会員各位へのご通知は本誌掲載にて尙畧させて頂きます。

- ◎ 1966年(上半期)レース入賞艇の表彰式は関谷会長、古屋副会長他役員及び会員諸士多数(90余名)が出席されて下記により盛会にとり行われました。

1966年(上半期)レース入賞艇表彰式

日 時 ~ 昭和 41.7.5 (火) 18:30
場 所 ~ 日本船舶クラブ会議室(虎ノ門)

第 次

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 開会の詞 | 飯島専務理事 |
| 1. 挨拶 | 関谷会長 |
| 1. 各レースの講評 | 大儀見レース委員長 |
| 1. 賞品授与 | 古屋副会長(関東支部長) |
| 1. 乾杯 | |
| 1. 閉会の詞 | 名和総務委員長 |

入 賞 艇

		第1回初島レース	黒潮南進レース	大島レース	第2回初島レース	
総合賞	1	ジョビアルファイブⅡ	はやとり	トンガ	コンテツサーⅡ	
	2	も さ Ⅲ	コンテツサーⅡ	シグナス	シグナス	
	3	シレナ	ケイセブン	ジョビアル ファイブⅡ	くろしお	
ク	Ⅲ 1	ロータス	コンテツサーⅡ	コンテツサーⅡ	コンテツサーⅡ	
	2	—	—	—	稲 竜	
ラ ス 賞	Ⅳ	1	ジョビアルファイブⅡ	はやとり	トンガ	シグナス
		2	も さ Ⅲ	アオレレⅠ	シグナス	くろしお
		3	シレナ	—	ジョビアル ファイブⅡ	高 麗
		4	トンガ	—	かまくら	—
		5	—	—	飛車角	—
フ ア ー ス ト ホ ー ム 賞	Ⅴ	1	ケロニア	—	—	オリンパスⅡ
		1	ロータス	コンテツサーⅡ	コンテツサーⅡ	コンテツサーⅡ

◎ 41年度会費納入について再々のお願ひ

既刊のNORCニュースにてお願いしております本年度の年会費納入低調を示し、事務処理上支障を来して参りましたので、至急ご便宜な方法でお払込み下さい。

未納者状況は下記のとおりです。

会計規則によれば納入期日は4月末日です。

銀行払込先

住友銀行虎の門支店普通預金口座

日本勧業銀行京橋支店普通預金口座

記

未納者数(41.8.10.現在)

特別会員(◎~~券~~ 6,500) 40名

普通" (◎~~券~~ 3,500) 104名

準" (◎~~券~~ 1,500) 9名

各レースの経過報告及び成績表

1 第2回初島レース(6/25-26)

1966年第二回初島レース報告

第二回初島レース委員会

委員長 戸田邦司

1. レース概況

第二回初島レースは6月25日(土)23:00小網代スタート、初島(時計回り)、江の島フィニッシュのコースで行なわれました。出走艇はクラスⅢ6隻、クラスⅣ10隻、クラスⅤ3隻の計19隻でした。

今回のレースはスタート時から微風になやまされ、26日13:35コンテツサⅢ(初島回航09:05)がフィニッシュしたのに続いてタイムミットの18:00までフィニッシュしたのは計7隻(クラスⅢ2隻、クラスⅣ4隻、クラスⅤ1隻)にとどまり、他の12隻はいずれも初島附近で微風と潮流のためリタイアを余儀なくさせられました。

2. 運営関係

今回は初の江の島フィニッシュとなつたのでレース委員会としても遺漏のないよう努力したが江の島ヨットクラブ、特にハーバーマスターの藤村氏の厚意ある協力により円滑なレース運営ができましたことを深く感謝しております。又リタイアされた艇の適切な判断と協力によりタイムリミットより2時間以内に全艇確認でき、無事今回のレースを終了できましたことを深く感謝いたします。

第2回初島レース成績表

戸田帆走委員長

セール№	艇名	T.C.F	到着時間	所要時間	修正時間	着順	総順	クラス順	
188	コンテツサーⅡ	0.770	13.35.15.	14.35.15.	11.13.57.	1	1	Ⅲ	1
135	くろしお	0.733	14.41.28	15.41.28.	11.30.06.	2	3	Ⅳ	2
183	シグナス	0.717	14.56.01.	15.56.01.	11.25.28.	3	2	//	1
374	高麗	0.709	15.29.12.	16.29.12.	11.41.21.	4	4	//	3
379	マノンボ	0.721	15.48.40.	16.48.40.	12.07.15.	5	5	//	4
388	稲竜	0.770	17.25.16.	18.25.16.	14.11.03.	6	7	Ⅲ	2
327	オリンパスⅡ	0.688	17.55.13	18.55.13.	13.01.02.	7	6	Ⅴ	1

◎ 棄権艇

クラスⅢ～ロータス、潮風Ⅱ、ケイセブン、神州

クラスⅣ～トンガ、ダモイ、シヤークⅩ、飛車角、もさⅢ、ミューズ

クラスⅤ～あきつき、クロニア

◎ スタート前棄権申告艇

サンドパイパー、シークラウン、どんがめ、アオレレⅡ、フライングカーベット

2 第7回鳥羽パールレース(7/29-31)

1966年第7回鳥羽パールレース報告

鳥羽パールレース委員会

委員長 吉田義明

第7回鳥羽パールレースは、7月29日11.00鳥羽スタート、城ヶ島フィニッシュのコースで

行われた。出走艇は世界的に有名な73 FEETのオープンレーサー〈ストームフォーゲル〉の参加を含めて、クラスⅡ以上が7隻、クラスⅣ8隻、クラスⅤ2隻の17隻で、大型艇の多いのが目立つた。

28日18.00恒例の前夜祭は、御木本真珠島の東端の海に面した屋外で、ストームフォーゲルの歓迎会も兼ねて、にぎやかに行われた。

正面の幕の前に下げられた大ブルーエンサインの前には、関谷会長、古屋副会長のほかなお顔が並び、艇毎にまとめられたテーブルには、胸にヨットを型どつたネームプレートをつけた乗組員、御家族で一ぱいになつた。

御木本真珠からストームフォーゲルの乗組員には真珠のプレゼント、レース参加者全員にペナントと絵はがきが贈られ、若いストームフォーゲルの艇長夫人らは大喜び。

オーナーのBROYNZEL氏が、ユーモアたっぷりに「我々はスタート後間もなく皆さんの視界から消えるでしょうが、気を落さないで下さい。レースは電子計算機が勝負を決める筈です。」と話せば拍手。

バルレース名物のさがみⅡの飯島艇長が立つて各艇の紹介を始める。今年は間に通訳が入るので、(それとも奥さんが居られるせいか?)旦那もやりにくい様子。それでも大笑の連続で、パーティは最高潮。

レース初出走のANNYの艇長三橋美智也さんが、ソーラン節を唄つて大サービスされる。ストームフォーゲルのクルーのスエーデン、オーストラリアの民謡、清水さん等の早稲田ヨット部の歌等々次々に得意の歌が飛出し、前夜祭を盛り上げた。

29日10.00 真珠島前仮スタート。

本部艇、家族や関係者の為の観戦艇2隻、報道艇、保安部の警備艇、本部が御世話になつた朝雲旅館の番頭さん、女中さんを満載した応援艇と共に加布良古水道のヨセマル灯浮標附近のスタート海面に向う。

11.00 NW3~4M/C, ヨセマルと風下側を前に出した本部艇の間を各艇一せいにスタートする。

潮風一皿が、さすがにトップで飛び出した後、風下側からストームフォーゲルが、スルスルと抜け出して独走態勢に入る。全員スピンの同じ色の赤、白、ブルーの三色のユニホームを着て、一きわあざやかだ。それを追つてANNY、ふじがスピンを張つて続く。

全艇のスタートを確認したあと、ストームフォーゲルを追う。巨大なスピン、ローワーバルーンメン、ステイスル、ミズンに風をはらませて、かなりのスピードだ。全速のモーターボートで追う

が、仲々差はちぢまらない。追いつめたのは伊勢湾入口の中央になつてしまいました。手を振つて別れ反転し、後続各艇に近づく。京都支部から参加のS E A - M A T 艇上で、井上御大が缶ビールを片手にどきげんの様子。最終艇オリンパス-IIを激励して帰路につく。

2 1.00 城ヶ島の本部に到着、1 2.00 に本部を開設した小林委員から、神戸 - 横浜レースのチター-II、スターダストが夜半にフィニッシュした事の報告を受ける。前夜の大さわぎの疲れで、寝くて仕方ないが、外はS W 8 ~ 10 m / 8 のいい風が呼んでいる。これはひよつとすると明方にストームフオーゲルがフィニッシュするかも知れないと云う事になり、夜半からワッチを開始する。

3 0日1 1.00 頃何時もレーティングの計算で御世話になつて居る山崎さんが写真をとる為に本部にこられた。1 4.00 神戸 - 横浜レースに優勝した、スターダストの谷川艇長が見えられる。

1 7.40 分頃「きた〜」と云う声にかけよる。タモヤの中で、ゼエノアを張つたストームフオーゲルが悠々と近づいて来る。山崎さんはカメラをかついで屋上に飛び出し、計時係はJ. J. Y. に時計を合わし、フィニッシュに備える。1 7時5 2分0 7秒フィニッシュ。

同艇に乗組んだ、清水、土肥、ナビゲーターのトニー氏らが、本部に報告に来る。遠州灘では一時1 0 ~ 1 2 knot のスピードで明るいうちに御前崎を抜けたが、前の方から風が落ち、日没前には、A N N Y、ふじが視界に入つて来、オーナー等はかなり緊張した様だ。神子元島を0 6.3 0 に過ぎ、一本で城ヶ島迄来た相だ。

3 1日0 2.40 分頃、暗夜の海面から3 7 2 の信号を打ちながら、A N N Yが近づき、セールを照しながら迫力あるフィニッシュ。続いて竜丸丸、モサ-IIIが、S W 6 ~ 8 m / 8 にスピンを張つて飛込む。

提出された航跡図によると、遠州灘で岸寄りコースを引いたさがみ-II等は、天龍河口で1 2時間の無風に合い遅れ、中コースを一本で引いた艇が結果として有利だった様だ。沖を通つた艇は、石廊崎迄は優劣なかつた様で、勝敗は神子元から大島附近のコースのとり方で決つた様だ。

優勝したもさ-III、準優勝の亜光、三位のシレナ、クラスIII、1位の竜丸丸らは、神子元から大島の風早岬寄りのコースをとり、海流、風に恵まれて勝利を占めた。

どんがめVII、ふじは神子元から爪木崎寄りのコースを引き、濃霧、本船になやまされて棄権をよぎなくされた。

その他、濃霧の為廻航が遅れ、とんぼ返りでレースに加つたオリンパス-IIが落合艇長以下0 6 4 2分に元気にフィニッシュし、総合5位に入る敢斗ぶりが目立つた。

* * * * *

最後にこのレースの為に、終始御世話下さつた海上保安庁の方々、今年も最大の御援助を下さつ

た御木本真珠の方々，地元鳥羽市，観光協会，大湊のニュージャパンマリンのオクセンドール氏，朝雲旅館，鳥羽国際ホテル，東海支部の角田，大橋，鈴木，坂井，坪井の各氏，ストームフォーゲルの接待に当られた月光Ⅱの清水，土肥，山本の各氏に厚く御礼申し上げます。

以上

賞 盃

- | | | |
|----------------------|----|-----------|
| ファーストホーム賞 | } | ストームフォーゲル |
| クラスⅠ，1位サケカップ | | |
| 高松宮盃 | } | モサーⅢ |
| 御木本盃 | | |
| ウイニングフラダ | | |
| クラスⅣ，1位サケカップ | | |
| ウイニングフラダ | } | 亜光 |
| クラスⅣ-2位サケカップ | | |
| ウイニングフラダ | } | シレナ |
| クラスⅣ-3位サケカップ | | |
| クラスⅡ，1位サケカップ | | A N N Y |
| クラスⅢ 1位 | // | 竜王丸 |
| クラスⅤ 1位 | // | QUERIDA |
| ブービー賞(ニュージャパン マリン寄贈) | | さがみⅡ |

着 順	クラス	セール№	艇 名	艇 長	T.C.F.
1	I	700	STORMVOGEL	P. LINDBERG	1.0678
2	II	372	ANNY	三 橋 美 智 也	.823
3	III	305	竜 王 丸	志 賀 仁 郎	.755
4	IV	366	MOSSA—III	小 泉 信 一	.710
5	IV	318	亜 光	山 崎 達 光	.712
6	IV	179	シ レ ナ	大 儀 見 薫	.712
7	III	358	潮 風—III	竹 下 政 彦	.784
8	II	338	MIGRATOR	M. R. BERKELY	.802
9	IV	369	潮	豊 泉 茂 基	.712
10	IV	709	SEA—MATE	渡 辺 欣 哉	.713
11	IV	374	高 麗	村 本 信 男	.709
12	V	210	QUERIDA	浅 見 和 世	.698
13	V	327	オリンパス—II	落 合 公 平	.688
14	IV	135	く ろ し お	金 子 武 男	.733
15	III	164	さがみ—II	飯 島 元 次	.744
D.N.F	IV	315	どんがめ—VII	渡 辺 修 治	.704
D.N.F	II	380	ふ じ	陳 秀 雄	.8201
D.N.S	III	188	CONTESSA—II	} 出艇取止め	.770
D.N.S	IV	173	SALMON		.721
D.N.S	IV	184	JOVIAL—V—II		

鳥羽パールレース成績表

鳥羽パールレース委員会

第一回大会

フィニッシュタイム	所要時間	修正時間	順位		石廊崎灯台 通過時間
			総合	クラス	
日 時 分 秒	時 分 秒	時 分 秒			時 分
30. 17. 52. 07	30. 52. 07	32. 57. 41	13	I-①	04. 15
31. 02. 48. 36	39. 48. 36	32. 45. 49	12	II-①	10. 14
31. 03. 36. 32	40. 36. 32	30. 39. 34	9	III-①	15. 20
31. 03. 50. 23	40. 50. 23	28. 59. 46	①	IV-①	16. 00
31. 04. 09. 58	41. 09. 58	29. 18. 36	②	IV-②	15. 15
31. 04. 36. 32	41. 36. 32	29. 37. 31	③	IV-③	16. 40
31. 04. 39. 41	41. 39. 41	32. 39. 45	11	III-2	15. 45
31. 05. 15. 04	42. 15. 04	33. 53. 07	14	II-2	17. 00
31. 05. 21. 08	42. 21. 08	30. 09. 17	6	IV-4	16. 30
31. 05. 25. 23	42. 25. 23	30. 14. 51	8	IV-6	15. 00
31. 05. 33. 32	42. 33. 32	30. 10. 27	7	IV-5	16. 10
31. 05. 37. 06	42. 37. 06	29. 44. 51	4	V-①	17. 45
31. 06. 42. 53	43. 42. 53	30. 04. 32	5	V-2	15. 54
31. 06. 54. 11	43. 54. 11	32. 10. 51	10	IV-7	15. 35
31. 09. 46. 30	46. 46. 30	34. 48. 02	15	III-3	00. 00
30日21.30石廊崎東南東20里で濃霧の為棄権					
30日22.00爪木沖で濃霧の為棄権					16. 20

各レース会計報告

1 第7回鳥羽パールレース

第7回 鳥羽パールレース会計報告

41. 8. 12

レース帆走委員長 吉田 義明

収入之部

参加申込料	19隻	19,000円
参加料(会員)	66名	33,000
" (非会員)	15"	30,000
前夜祭参加料	135"	67,500
計		<u>149,500</u>

支出之部

前夜祭参加料	67,500円
委員宿泊費(鳥羽・城ヶ島)	4,298
旅費・交通費("・")	22,350
艇長会議借室料	2,100
電話料(特設電話架設料共)	7,864
備船料(鳥羽 3隻分)	18,000
謝礼品代	1,590
印刷費(帆走指示書,航跡図等)	2,140
通信費	130
消耗品費	1,245
雑費	6,360
計	<u>172,260</u>

差引不足額 22,760円

2 湾内ポイントレース

Point RACE 会計報告

摘要	月別	1	2	3	4	5	6	合計
収 入		35000	28000	19000	23000	38000	38000	181000
支 出								
パーティー費		10000	9000	6000	8000	10000	14000	57000
コミッテイポート使用料		7000	7000			7000		21000
マ ー ク ・ 葉 山		2000	2000	2000	2000	2000	2000	12000
〃 江ノ島		2000	2000	2000	2000	2000	2000	12000
〃 油 壺		2000	2000	1000	1000	2000	2000	10000
ガ ソ リ ン 代		1300	1300			1300	1300	5200
交 通 費		2340	2490	860	1460	2360	3260	12770
通 信 費		589	490	640	570	320	320	2929
コミッティー・事務局 飲食・宿泊費		2460	1567	780	890	1580	1370	8647
雑 費		300				230	380	910
印 刷 代 (昨 年 度)							17210	17210
ア ン カ ー 支 払 い							3800	3800
支 出 計		29989	27847	13280	15920	28790	47640	163466
差 引 計		5011	153	5720	7080	9210	△9640	17534

◎ 熱海ランデブーの終了について

田辺帆走委員長の格別のご配慮にて昨夏のランデブーにも劣らぬ盛会を極め、森繁久彌オーナーの作詞による「NORRCヨット讃歌」の大合唱にて有終の美を飾りました。

N O R O 熱海ランデブウ報告

熱海ランデブー帆走並歓迎委員長 田辺 英蔵

8月7日(日曜日)快晴, 7時頃からポツポツ白い帆を張つたヨットが熱海に入港し, 12時のパーティーの時には18隻の艇と約130名の乗客をお迎えしました。(参加申し込み艇は30隻余りでしたが台風のため警戒された結果だと思われます。)岸壁附近はうねりが高く, 各艇はブイの他にアンカーを打つて万全を期しました。

正午よりN O R Oの関谷会長より挨拶があり, 昼食をとりながら舞台では後楽園よりサービスで大漁音頭の歌と踊りが興を添え, そのあと江の島フリートN O R O IIのクルーの皆さんの元気あふれ, 且つ“センスがいつぱい”の海の歌の披露があり, 最後にN O R Oヨット讃歌の大合唱で宴を閉じ, その後は大浴場で汗を流す方, 遊園地で童心に返られる方, 或はプールで河童と酒落込む方等, 夫々に楽しまれた後4時過ぎ, 全艇岸壁を離れました。

◎ フリートの情報

1 小網代フリート(フリートキャプテン 守屋克己)

小網代フリート紹介

守屋克己

小網代湾にヨットが浮んだのは昭和25年頃“ムヤ”“フルタカ”が最初で, “サガミ”“ドンガメ”が次いでアンカーしたというのがハーバースター白井さんの話である。

35年頃からヨットの数が急激に増えたので, 船の定位置を決めるのと共同のアンカーとして27mmワイヤーを網目に組んで沈めそれからチェーン取りブイにした。しかし最近, 岸近くのワイヤーが錆がひどく強度が信頼出来ないので西風の強い冬と台風時には各艇毎に増アンカーをしている。そのため今年は弱つた部分の補強とブイの増設の作業を予定し, 5日には各艇から4人動員して雨の中で岸の岩を掘り鉄筋をコンクリートで埋め, 近々ワイヤーの補強の作業を行う。小網代フリートの1つの特色はこの共同作業で, 年配の人も若人に混つて働いている姿は小網代フリートならではの見られないものであろう。

又, 39年には諸先輩の尽力で地元漁業組合と協力体制を確立し, 先日の“ふじ”の歓迎会には組合役員同席で, スライドを交えた諸報告を和気あいあいと拝聴した。

今, 多くの人が希望しているのはクラブハウスの建設で提灯で飾つたテラスで冷えたビールを飲むみたいという飯島ダンナの夢を出来るだけ早く実現したいものです。

フリートの会則は現在ないが、今後加入艇が増えると思われるので最少限のルールを作り、より充実したレースやクルージングが出来る様にしたいと考えています。

2 油壺フリート(フリートキャプテン 吉谷竜一)

油 壺 フ リ ー ト

フリートキャプテン 吉 谷 龍 一

しばらく留守をしておりましたので、事務が滞つたこととお詫びします。

・フリート会合

本年第1回の会合を5月10日、虎の門日本船舶クラブで行いました。

そのときめたこと

1. 当フリートではやかましい規則は一切作らないが、安全に関する次のとりきめだけは守つていこう。

出艇に際して必ず出艇申告を行う

そのために油壺に郵便ポストのようなものを設置し、各艇の責任において、そこに出艇申告を入れることにしました。ポストは早速、コツクル氏が作つて下さいましたが、小生留守のため、その後の運営が始まつていません。早速はじめるようにしたいと思います。

2. フリートのバツジを作ろう

くろしおの専門家たちに依頼しました。

3. 会費は年額1艇につき¥500として、主として郵送料にあてる。会計はバイオニアの勝木氏。

4. フリート所属艇とNORC会員クルーの登録をしよう

フリートとしての原簿を作ることにして進行中ですが、まだ登録してない艇は送つて下さい。

5. 世 話 役

今年度の世話役

サブキャプテン	Kay Seven	多 門
補 佐 役	Contessa II	石 川
	Pioneer II	勝 木
	White Crest II	Gaine (Cockle)

○安全フェスティバルの件

諸磯フリートで9月4日に安全フェスティバルをやるというので当フリートも合流させてもら

うことになりました。安全筏のメーカーから責任者に来てもらい使い方、たゝみ方の練習、膨脹テストもする予定ですから各艇必ず参加して下さい。

○所属艇 順不同

Pioneer II, 八丈, 高麗, Barney's Job, Flamingo II, White Crest II, June Bride, あかつき, Kay Seven, 神州, Contessa II, ダモイ, Aolele, おうりゆり, 月光 II, 卯月, くろしお, Migrator, ダボハゼ, 蒼龍, 稲竜, Liefde, Sandpiper, 朝風, 亜光, EVE, Flying Carpet, Anny Lone Star, Masteyna, ダモイ, 朝日, Flying Fish, マヤ II, Pink Pearl, Christina. (洩れている艇はお知らせ下さい。未登録艇は登録して下さい)

◎ クルーザー教室の終了について

1966年第1回クルーザー教室は下記のとおり開講しました。今回は座講のみに終始しましたにも不拘参加申込者が殺到して次回の参加をお願いした程です。講師始めご協力の方々へ厚くお礼申し上げます。

なお、受講者のご希望により、月例的懇談会を催すことになりまして、第1回7月14日、第2回8月11日 18:30より日本船舶クラブ会議室にて会費持寄りで、各自のヨットへの関心、将来の希望等について隔意ない歓談を交しました。

会員各位にも機会を得て是非ご参加の上貴重な体験談など進んで披露していただきたいと存じます。

記

期 間	昭和41年6月9, 16, 23, 30 (4回)	18.30~21.30
受講者数	20名(内NORC会員4名)	
講 師	関根 久氏, 馬場邦彦氏 他	

1966'クルーザ教室 会計報告

収入の部

受 講 料		56,000円
内 訳 {	NORC 会 員 (4名)	8,000
	非 会 員 (16名)	48,000
合 計		56,000

支出の部

教 室 借 用 料 (4回)		12,600円
教 材 費		3,820
模 型 借 用 料		2,000
講 師 謝 礼 (3名)		20,000
助 手 " (4名)		2,000
食 事 代 (4回)		6,350
喫 茶 代 (全員4回)		6,710
雑 費		1,000
合 計		54,480
差 引 残		1,520円

◎ 常任委員会開催さる

第7回……昭和41.6.14(火) 18.30 出席者(23名)

議 題

1. 大島レース終了に伴う諸報告(稲富帆走委員長)
2. 初島レース(6/25~26)開催について(戸田帆走委員長)
3. 横浜~神戸レース開催に伴う準備態勢について(大儀見レース委員長)
4. その他
 - 1) レース委員会提案
 - (イ) 抗議手続仮決定について
 - (ロ) レースの改正について

四
内
M

- (一) レース旗の改定について
 - (二) 八丈島レース準備委員会の発足について
 - (ホ) 1966¹後期ポイントレース日程の変更について
- 2) その他
- (イ) 「登録票の交付」打合せ会の経過報告
 - (ロ) 3レース終了に伴う入賞艇の表彰について
 - (ハ) 会員伊橋照美嬢の個展(写真)開催のおしらせ

第8回……………昭和41.7.12(火) 18.30 出席者(15名)

議 題

1. 横浜～神戸レース及び鳥羽パールレース開催に伴う帆走指示書等の審議
2. レース規則改訂並に八丈島レース準備委員会の動静について
3. 法規委員会の調査報告
4. その他

本年後期の常任委員会及び湾内ポイントレース開催予定時は下記のとおりとなりました(前号既報分再掲)

常 任 委 員 会……………8/16, 9/13, 10/14, 11/15, 12/6

湾内ポイントレース……………8/14, 9/11, 10/2, 11/13, 12/11

◎ 各委員会よりのお知らせ

1 安全委員会

関東支部安全委員会

横 山 晃

田 山 英 世

<安全備品フェスティバル>の件

7月12日の常任委員会の席上、飯島専務理事から「ふじ号が南支那海レースに出場する際、2年前に購入したライフラフトをテストした所が、半分位しか膨らまなかつた。各艇の物も同様な状態になっている懸念があるので、これを確認する行事を計画しては如何か」との発言があり、それについて討議の結果、<安全備品フェスティバル>を各フリート主催で行う事に意見が一致した。

就きましては、8月中に計画し、9月中に実施するよう各フリート毎に御手配の程、お願いしま

す。(最寄りの2〜3フリート合同でも結構です)計画の日時,内容の概略を9月1日までに横山迄,ライフラフトメーカー立合い要望やクレーム問題の事前打合せなどに就いては田山迄,ご連絡下さい。尚,後日の資料の為に不発や不充分的統計資料及び実施後の感想,意見を横山宛にお送り下さい。

オーナー各位殿

上記の主旨で<安全備品フェスティバル>を行いたいと存じますので,各艇洩れなく参加をお願いします。又この行事を楽しむ<お祭り>にする為に卓抜なアイデアをフリートキャプテン宛にご提出下さい。

(アイデアの1例)

◎ ライフラフト競漕。参加資格は購入又はボンベ詰め替え後1年以上の物。スタートは梱包状態で船上又は陸上で行い,膨脹不十分の際は,フィゴ,口吹きなどで補充し,100米以上のコースを漕いで競争する。但し,総ての操作は競技者だけで行い事。もしエントリーが有資格艇の半数以下の場合はクジ引きで出場させる。

◎ ライフジャケット競泳。各艇1名宛参加し,両手で旗を持つなど手を使わずに泳ぐ競争。

◎ 錨引き競技。両艇の上で同じ人数でアンカーロープを5分間引き,走錨や腕力負けなどで引かれた方が負けになる。

但し,アンカー及びアンカーロープは  日常備え付ける物を使い事。

◎ 競技の応援。フォグホーンで行い事。各艇毎に特有のシグナルを定めて吹鳴して応援する。

◎ スタート及びフィニッシュのシグナル。信号焔及び消火器で行い,何れも3本以上並列して,各所属艇が操作すること。

◎ 落水救助演習,救助看護演習。(人口呼吸を含む。)

1966.8.14

2 計測委員会

NORC計測委員会

1966年度計測規則に依る新レーティングの件

題記の件に関し、下記の通り決定しましたので御通知申し上げます。

記

関 東

(Class I)

なし

(Class II)

アニー	TCF:0.823	マイグレーター	TCF:0.802
ふじ	0.820	ロータス	0.794

(Class III)

潮 風 III	0.784	ネブチューン X	0.746
Kay Seven	0.778	さがみ II	0.744
稲 竜	0.772	フライングカーベット	0.741
利 根	0.772	ト ン ガ	0.739
コンテツサ II	0.770	神 州	0.736
竜 王 丸	0.755		

(Class IV)

くろしお	0.733	シ レ ナ	0.712
ダ モ イ	0.732	モ サ III	0.710
イーグル	0.730	シヤーク X	0.710
マンボ	0.721	高 麗	0.709
ジョビアル V	0.721	ソークラウン	0.708
シグナス	0.717	*飛 車 角	0.708
サンドバイパー	0.715	アオレレ II	0.707
マウピチ II	0.714	は や と り	0.707
アルマダ	0.713	ミ ュ ー ズ	0.706
亜 光	0.712	か ま く ら	0.706
潮	0.712	フラミングゴ II	0.704
		ど ん が め VII	0.704

(Class V)

あきつき	TCF:0.688
オリンパス II	0.688
おうりゆう	0.688
フェニックス	0.677
ケロニア	0.677

* 要再計測

(附記) 各艇へのご通知は本誌掲載にて省略させていただきます。

3 レース委員会

(イ) 別冊「外洋ヨットの航法」についての説明会を下記により催しますから是非ご出席下さい。

日、時 41. 9. 6. (火) 18.30

ところ 日本船舶クラブ会議室(虎の門)

(附記) 会員各位へのご通知は本誌掲載にて省略させていただきます。

(ロ) 第1回、第2回初島レース及び大島レースの参加艇提出による航跡図が整理されましたので、NORC本部に保管してあります。閲覧ご希望の方はお出かけ下さい。

◎ 会員の異動

特別会員より普通会員へ

4491 伊 熊 仁 一 (シグマ)

2269 北 山 洋 一 (若王丸)

普通会員より特別会員へ

5521 白 崎 謙 太 郎 (NADJA II)

準会員より普通会員へ

5552 齊 藤 鑑 三 (さがみ II)

新登録艇紹介（詳細は後報します）

セール	艇名	オーナー	フリート
318	亜光(旧シグマ)	山崎 達光	油壺
322	朝風	朝比奈 新	"
389	NADJA II	白崎 謙太郎	小網代
390	EVE	中里 邦太郎	油壺
391	はまゆう	小島 卓次郎	(沼津)
392	雪風	斉藤 昌邦	江の島
393	SORCIERE	Joseph Ranger	"
395	波勝	加藤 鶴喜知	小網代

新入会員紹介 (41.6.21.~41.8.15)

会員番号	氏名	住所	勤務先	フリート	所属艇
6704	成田 義明	埼玉県北足立郡新座町片山24	龍田ゴム興業KK営業部	(866)4991-3	KAY SEVEN
6705	桜井 由紀夫	神奈川県藤沢市辻堂1194	学習院大学学生	〃	神 州
6706	※ 高 沢 実	東京都世田谷区上北沢3-1116	(322)2137 東京大学史料編纂所特殊史料部	(812)2111	リ ー フ デ
6707	鈴木 賢蔵	神奈川県三浦市三崎町小網代, 油壺ボートサービス内	(0468)81-2862 サンシン プロダクション	〃	A N N Y
6708	※ 中 里 邦太郎	東京都港区芝公園5-12	(431)1878 銀座堂	(571)2305	E V E
6709	(準) 横 塚 典行	神奈川県川崎市明津106	(呼出) 中原(2)8590 玉川学園学生	〃	諸 磯 O L Y M P U S II
6710	(〃) 落 合 恭子	東京都調布市入間町331	(309)3056 学 生	〃	〃
6711	(〃) 古 屋 和子	〃 新宿区市ヶ谷鷹匠町2	(260)4075 女子美術大学学生	〃	油 壺 F L A M I N G O I I
6712	水之江 浩之	神奈川県川崎市下作延1904-6	(0448)83-4676 いすゞ自動車KKサービス部小型車技術課	(762)1111	小 網 代 S A L M O N
6713	松 田 紀元	〃 鎌倉市御成町13-29	(0467)2-5349 岩井産業KK木材部製品課	(272)5811	〃
6714	※ 小 島 卓次郎	静岡県沼津市千本緑町1-34	(0559)63-6496 KK小島屋	〃	沼 津 は ま ゆ う
6715	※ 芥 藤 昌 邦	神奈川県逗子市逗子4-1-13	(0468)71-2321 日商KK経理部財務課	(216)0311	江 の 島 雪 風
6716	山 崎 達 光	東京都文京区小日向2-21-6	(941)2288 S B 食品 KK	(668)0564	油 壺 亜 光
6717	杉 山 博 保	〃 中央区日本橋江戸橋2-1	(271)4610 杉山タイル KK	(271)4610	〃
6718	武 村 洋 一	神奈川県横須賀市三春町4-55	日新ビニール工業 KK	〃	〃
6719	田 島 瑞 穂	〃 茅ヶ崎市小和田3829	KK 山下寿郎設計事務所	(552)8311	小 網 代 さ が み II
6720	※ 朝 比 奈 新	東京都目黒区東ヶ丘1-24-14	(411)2016 ブツシエル, シミオール朝比奈法律事務所	(211)6747-8	油 壺 朝 風
6721	※ Joseph Ranger	〃 港区六本木町1	(401)8853 アーガス KK	(433)4251	江 の 島 S O R C I E R E
6722	※ 加 藤 鶴 喜 知	神奈川県横須賀市舟倉町880	(浦賀)1351 (有) 加藤ボート工業	(浦賀)1351	小 網 代 波 勝
6693	永 田 正 人	東京都武蔵野市西久保1-12-4	(0422)51-3773 成蹊大学学生	〃	諸 磯 シ ャ ー ク X
6694	山 本 洋 一	東京都新宿区諏訪町115 阿部幸夫方	(371)1402 早稲田大学学生	〃	油 壺 稻 一 竜
6695	William G. Agnow	神奈川県横浜市中区本牧3-795	(045)20-0187 ナイルC.キニツク アメリカンスクール	〃	〃
6696	(準) 村 木 博	神奈川県鎌倉市材木座5-14-21	(3)0597 中央大学学生	〃	油 壺 C O N T S S A II
6697	(〃) 中 村 裕 昭	神奈川県川崎市木月1-484 渡辺方	中原(2)2329 慶応義塾大学学生	〃	油 壺 ダ モ イ

住所，勤務先変更

会員 №	氏 名	新 住 所
4456	吉野 正	東京都目黒区大岡山1-31-20 (718)0827
4008	福永 昭	// 港区芝桜川町28, 第10森ビル (501)0286-8
6669	門野進一	// 港区赤坂8丁目11-39 (408)2073
5081	山下精一	東栄ポート横須賀市佐島626 (大楠)128
4435	小池 真	神奈川県三浦市三崎町油壺港油壺ポートサービス内
4496	広瀬 瑯一	// 藤沢市辻堂7181-5 住宅公団辻堂団地3-11-308
0152	富永 弘	東京都港区赤坂6丁目13-8 (583)7856
3420	田辺英蔵	// 渋谷区広尾3丁目9-14 (401)5424
2307	西村 真	神奈川県厚木市緑ヶ丘4-3-111
1189	周東英郷	東京都千代田区神田美土代町1 (住友商事ビル) (294)4111
4501	白神慶生	// 渋谷区元代々木町40 富士銀行代々木家庭寮 (468)0341
8033	SYDNEY BROOKES	// 中央区銀座東1-2 東貨ビル2階 (561)5295
5592	中川 靖彦	// 港区芝5-3 4田町公団住宅833号 (452)5859
4452	川島正通	神奈川県藤沢市辻堂団地3-6-207 藤沢(35)3916

オーナーへの御願

N, O, R, C 本部に登録艇の写真帳を備えつきたいと思います。

これは協会としまして何かのときに活用してゆきたいと思いますのでなるべく特徴のあらわれた自艇の写真をお送り下さい。

(N O R C 本部)

MEMORANDUM

No.	Date	Particulars	Debit	Credit	Balance
1	1912
2	1912
3	1912
4	1912
5	1912
6	1912
7	1912
8	1912
9	1912
10	1912
11	1912
12	1912
13	1912
14	1912
15	1912
16	1912
17	1912
18	1912
19	1912
20	1912
21	1912
22	1912
23	1912
24	1912
25	1912
26	1912
27	1912
28	1912
29	1912
30	1912

...